

学校教育目標	夢・夢中・ともに輝く 心豊かな子 自分らしさを発揮し、友だち、まち、自然と関わることを大切にします。							
	【知】 基礎・基本を大切にしながら、自ら問題を見つけ、追究していけるように学習課題を工夫して支援します。							
	【徳】 自分と周りの人(友だち・学校・家庭・地域の人)と望ましい人間関係を持てるよう支援します。							
	【体】 自他の生命を尊重し、進んで心身の健康保持に心がけるよう支援します。							
	【公】 自分が社会の一員として貢献できるように、学び合う心を持てるように支援します。							
【開】 自分らしさを発揮し、成就感、存在感を味わいながら社会へ貢献できる力がつくよう支援します。								
学校概要	創立 40 周年	学校長	内山 聖司	副校長	矢島 正樹	2 学期制	一般学級: 11	個別支援学級: 4
	児童生徒数: 283 人		主な関係校: 港南台第一中学 港南台第一小 港南台第二小					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・言語活用 コミュニケーション能力 ・持続可能な社会の創造に貢献しようとする態度 ・他者理解の態度と自己肯定感 	港南台第一中学校 港南台第一小学校 港南台第二小学校	○「まち」でともに生き、「まち」でともに学び、「まち」をともに作る港南台の子ども ○教務主任会やブロック専任会での情報を基に、「学習スタンダード」の作成に取り組めます。 ○研究授業を含めた小中教職員の授業交流において、研究テーマを設定し内容を充実させます。 ○児童・生徒の交流日を増やします。 ○中学校への円滑な接続を図るための情報交換や研修を実施します。

中期取組目標	○「誰もが、安心して、豊かに生活できる学校」をめざし、人権尊重、差別・いじめを許さない心情・態度を育成していきます。 ○教科学習、総合的な学習、なかよし学年活動、読書の日常化、の4つの柱を教育活動の中心に据えて、全職員で目標や指導法の共有化をはかり、学習活動の充実をめめます。 ○学力向上を目指して、中学校ブロックで連携し、共に小中一貫9年間の見通しをもち、基礎基本を定着させ、言語活動を充実させた学習指導の展開に努めます。 ○教育活動や学校評価に、地域の人々、保護者、関係機関等のちからを取り入れ、開かれた学校を促進します。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①ESDに取り組むことにより、新学習指導要領の理解を深め、校内重点研究では、ESDへの取り組みを通して、授業改善を図っていきます。②児童の主体的な学びを重視し、重視する能力態度を明確にした授業実践を行います。
担当 研究主任	
豊かな心	①縦割り仲よし班の活動の充実を通して、自尊感情・自己有用感を高めていく。年度当初のオリエンテーションから振り返りまでをしっかりと行い、活動内容を向上させていきます。②保護者・地域とのふれあい活動を重視し、ESDの視点で、各学年の総合の時間を充実させます。
担当 道徳部	
健やかな体	①体育的行事を中心に児童の主体的な計画・実践に従事しながら、充実した内容となるよう取り組めます。②朝の読書、立腰の時間、もくもく清掃など、学校での生活全般を通して、健やかな体作りにつなげていきます。
担当 体育部	
特別支援教育	①校内委員会の充実を通して、支援が必要な児童の把握・情報共有・支援方針を確実に実行し、全職員が適切に対応できるようにします。②個別支援学級を中心とした、特別支援教育を学校経営の中核に付け、どの児童も安心して豊かな学校生活を送れるよう配慮していきます。
担当 特別支援コーディネーター	
児童生徒指導	①いじめ防止基本方針で定めた、YPを活用した児童理解と集団づくりを全クラスで取り組んでいきます。②三小スタンダードの見直しと徹底を図り、規律のある学校生活を送れるように指導を行っていきます。
担当 児童支援専任	
地域連携	①学校の取り組みやその成果を学校便りや学年便り、学校ホームページなどで知らせていきます。ホームページの学年の取り組みは月に一度は更新していきます。②引き続き、地域の教育力の活用とESDの取り組みを通じた地域連携を図っていきます。
担当 教務部	
a14	a22
担当	
a15	a23
担当	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会の定期開催と緊急時の開催を確実に実行し、組織的な対応をしていきます。また、カウンセリングスキルに関する研修を計画していきます。②特別な教科道徳などの学習を通して、自己を見つめ、より多面的・多角的に自己をとらえ、自らの考えを深める力を育む学習を用意していきます。
担当 校内委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①若手の活力を学校全体の活力につなげていくため、校内のメンターチームを更に充実させ、主幹教諭の指導の下、授業改善に努めていきます。②他機関との連携を深め、その専門性を取り入れ児童や研修に生かしていきます。③風通しのよい職場、明るい職場づくりを行うことで、組織力を強め、一人ひとりの教師がのびのびと自分を発揮できるように努めます。
担当 主幹教諭会	